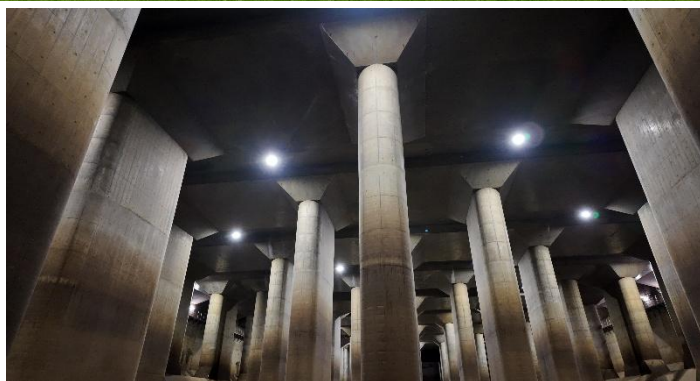


# ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo **639**

**2025.7**



2025 年 7 月 1 日 (毎月発行) 定価 200 円 639 号通巻第 639 号第 55 巻第 7 号発行/新建築家技術者集団東京支部  
発行人／杉山昇 〒162-080 東京都新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3 階 tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9811  
ホームページ <https://nu-ae.com/tokyo/> E-mail [shinken-tokyo@group.email.ne.jp](mailto:shinken-tokyo@group.email.ne.jp)

- 03 防災地下神殿見学ツアー報告 山下千佳  
 04 中野ブロードウェイ見学会報告 //
- 06 一人暮らし高齢者の賃貸型コーポラティブハウス 杉山昇  
 07 「江戸学事始セミナー・町歩き・第九を東京カテドラルで楽しむ」 案内  
 08 鋸屋根に魅せられて 吉田敬子  
 10 アジアンニュース No.30 TN

### 今月の表紙 提供：山下千佳

埼玉県春日部市にある世界最大級の地下放水路「防災地下神殿（首都圏外郭放水路）」建物の中には、地底探検ミュージアム「龍Q館」もあり、学習の場にもなっています。

## Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

### 東京支部

- ◎06/20 金 18:30 第3回常任幹事会 @新建事務所  
 ◎07/25 金 18:30 第1回幹事会 @新建事務所  
 ◎08/01 金 16:00 東京の課題・問題 懇談会（拡大常任幹事会）@新建事務所  
 ◎09/06 土 市民防災デー @板橋区立グリーンホール

### 全国

- ◎08/18 月 18:30 災害復興支援会議「能登半島地震報告会」@ZOOM  
 ◎09/ 全国幹事会  
 ◎10/25 土-26 日 建築とまちづくりセミナーin 仙台  
 ◎11/29 土 全国大会

### 会員及び交流団体 詳細は（ ）に記載された会員へお問い合わせください。

- ◆07/26 土-27 日 第67回自治体学校 in 東京 @日本教育会館&明治大学（千代崎）  
 ◆11/05 水-09 日 2025年日本建築学会文化賞受賞記念写真展「のこぎり屋根に魅せられて」（吉田）  
 写真展とトークショー @入間市アミーゴ  
 ◆11/08 土 全国災対連 災害被災地交流集会 @全労連会館+ZOOM（千代崎）  
 ◆11/15 土 憲法フォークジャンボリー（村上） @滝野川会館

### 「2025 建築とまちづくりセミナーin 仙台」プレ企画 オンライン開催

第1回 7月29日(火) 18:30~20:00

「能登被災地の仮設住宅の実態」 高林秀明氏（熊本学園大学教授）

第2回 8月26日(火) 18:30~20:00 聞き手：阿部重憲氏

「宮城県美術館現地存続運動の経験」対談：西大立目祥子氏 & 高橋直子氏

第3回 9月19日(金) 18:30~20:00 聞き手：窪田亜矢氏

「浜の生活と反原発」佐藤清吾氏

第4回 9月24日(水) 18:30~20:00

「寂寥(せきりょう)たる創造的復興」小川静治氏（県民センター事務局長）

詳細・お申込みは全国ホームページ

<https://nu-ae.com/25sendai-pure/>



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ [foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp](mailto:foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp)

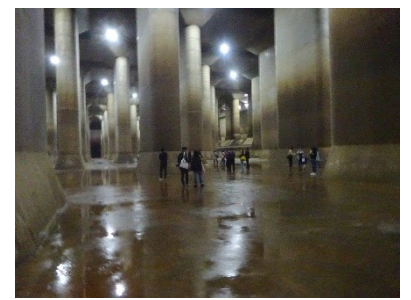
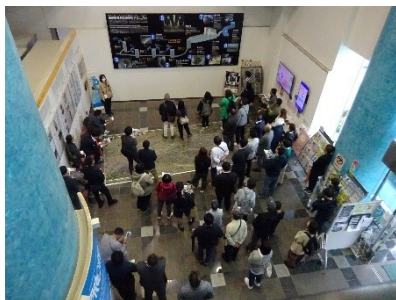
## 「防災地下神殿」首都圏外郭放水路 見学ツアー報告 山下千佳

5月31日（土）、建交労東京建設・関連部会が主催する「防災地下神殿（首都圏外郭放水路）見学ツアー」がおこなわれました。東京支部からは、笹原さん・石原さん・江國さん・澤田さん・高田さん・露木さん・村上さん・畠中さん・千代崎さん・山下の10名が参加しました。笹原さんは建交労の専従として運営に奮闘されていました。あいにくの雨でしたが、地下水路ということもあり、緊迫感がありました。

首都圏外郭放水路は、埼玉県春日部市にある世界最大級の地下放水路で、近年増加する集中豪雨や台風に伴う内水氾濫（都市の中小河川の氾濫）から地域を守るために整備されました。中小河川（中川、倉松川、綾瀬川など）からあふれそうになった水を取り込み、地下の巨大トンネルを通じて江戸川へと流す仕組みです。建設は1992年（平成4年）に着工し、13年の歳月をかけて2006年（平成18年）に完成しました。総工費は約2,400億円、施設は、長さ約6.3km・内径10mの地下トンネル、5本の立坑（深さ約70m、直径約30m）、そして「防災地下神殿」とも呼ばれる調圧水槽で構成されています。この調圧水槽は長さ177m、幅78m、高さ18mの巨大な空間に59本の柱が立ち並び圧巻でした。

見学では、施設の概要説明に加え、調圧水槽内を実際に歩くことができました。地下に広がるこの巨大空間は、まさに地下神殿でした。90万人以上の住民を洪水から守っていると言われています。

見学コースはたくさんあり、予約も取りにくいほど人気のようです。完成までの年月、総工費、維持管理費を考えると簡単に感想をのべられませんが、水害対策は必要です。今回、このような機会をつくってもらえて良かったです。終了後は大宮駅近くのお店で昼食をとりながら交流もできました。



地底探検ミュージアム「龍 Q 館」ではビデオ、パネル、模型、地図で施設の内容の詳しい資料が展示され、説明もしてもらいました。ドラマなどのロケにも多く使われているそうです。



## 「中野ブロードウェイ」と今日の都市再開発を考える

山下千佳

6月14日（土）、新建東京支部（東京問題研究会）主催による「中野ブロードウェイ見学会」を開催しました。18名が参加しました。戦後復興期の都市計画や高度経済成長期のまちづくりの成果である「中野ブロードウェイ」を実際に歩き、その歴史と現在の姿に触れました。

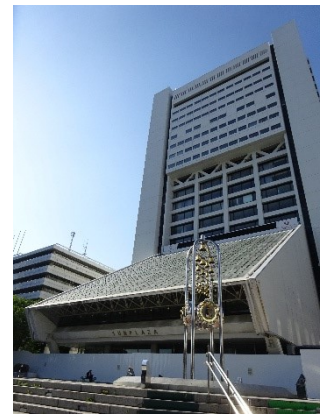
見学会開催にあたり、6月12日（木）19時からオンラインで事前学習会もおこないました。

### ■築60年を超え、今も多くの人々を惹きつける「中野ブロードウェイ」と中野駅周辺の再開発

かつての先進的な都市型複合施設は、今や“オタクの聖地”として世界的にも知られる存在へと変貌を遂げています。一方、中野駅周辺では「百年に一度」とも称される大規模な都市再開発が進行中で、かつてのランドマークであった中野サンプラザも、計画の見直しが報道されるなど、再開発のあり方が問われています。



「中野区まちづくり推進部」説明会資料より

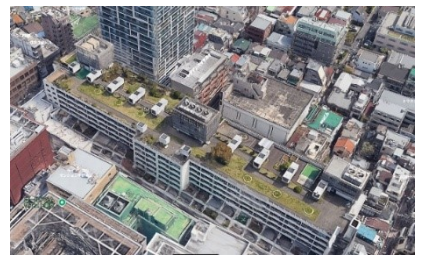


中野ブロードウェイ北口と中野サンプラザ

### ■屋上庭園中野区 まちづくり推進部

今回の見学では、近隣に住む元土建組合員の方とブロードウェイの居住者の方のご協力で、一般の人は立ち入ることができない住宅エリアと屋上庭園を特別に訪問させていただきました。草木に囲まれた庭園は、きちんと手入れがされていて、建物の上にもうひとつの生活空間が広がっているような印象でした。ジョギングや犬の散歩もできるとの掲示がありました。屋外プールや更衣室もあり、小さなジャングルジムも残っていました。周囲の再開発の様子や、高層ビルへと変貌する中野駅北口エリアを一望することができました。

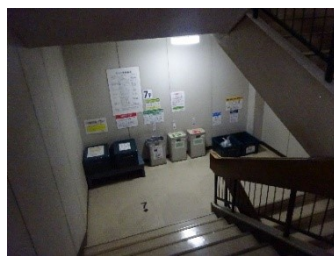
Google マップで屋上を見る



## ■ 住宅部分

5 階～10 階が住宅部分で総戸数は 251 戸、管理方式は自主管理でブロードウェイ区分所有者による管理組合（法人化された管理組合法人）が運営しているようです。24 時間有人管理・警備員常駐。

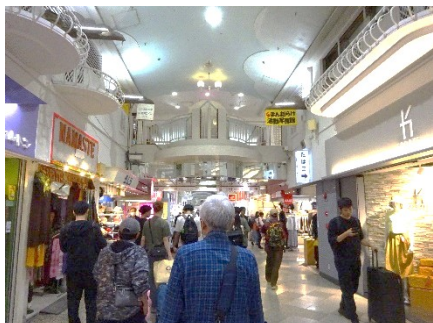
廊下は絨毯が敷かれていて、階段踊り場にあるゴミ置き場もとても綺麗に整理されていました。



## ■ サブカルの聖地と多層商業空間

地下 1 階から地上 4 階までが商業フロアで構成され、建物全体が「まちなような建物」とも言える複雑な構造を持っています。見学では、各自で館内を自由に巡り、地下 1 階の市場のような食品街や、地上階の雑貨・ファッション店、そして 2～3 階のアニメやフィギュア、ヴィンテージ楽器、時計店など、まさに“サブカルチャーの迷宮”と呼ばれる多彩な店舗群を体感しました。とくに 1980 年代から続く「まんだらけ」を中心としたマニア向け店舗群は、国内外からの来訪者を惹きつける名所ようです。

耐震性の問題や、所有者の多さによる改修合意の困難さ、後継者不足に悩む商店街組合の課題など、再開発と維持保全のはざまで揺れる実情にもふれながら、都市における「継承すべき価値」とは何かを考える機会となりました。



中野四丁目にあった警察大学校等跡地にできた再開発地域「なかの新都心」中野四季の都市（なかのしきのまち）に行きました。敷地内にはオフィスビル、防災公園、大学キャンパスなどができ、今後も再開発が予定されています。たくさんの飲食店もあり、お店で交流をして解散しました。

## 一人暮らし高齢者の賃貸型「つながりの家」

### 【人口減少と高齢化】

総務省の人口推計によると、2023 年 6 月現在の日本の総人口 1 億 2,336 万人のうち、75 歳以上の人口は 2,091 万人（総人口の 16.9%）となっています。

平均世帯人員も 1986 年には 3.22 人だったものが、2024 年で 2.23 人となっています。このように一つの家族が小さくなってきております。

### 【「つながりの家」構想】

そこで、一人暮らしになっても住む人同士で支え合い安心して暮らせる住まいをつくり、暮らすことを目的とした「賃貸型コーポラティブハウス：つながりの家」構想が実現できそうになってきました。

高齢者の一人暮らしでは、認知症の進行、孤独死などが心配されます。

いろいろな人が一緒に暮すなかで、コミュニティルームを設置して、居住者の合意する範囲での食事会をし、認知症の進行を抑える、孤独死にならないようお互いに声を掛け合うなど、入居者みんなで努力するとともに、例えば、認知症が心配な段階では任意後見契約を締結する、葬儀や埋葬などが心配な方は死後事務委任契約を締結するなど安心して暮らすための補助的なシステムを導入することも可能です。

地域社会とのつながりも・・・例えば、近くの子どもたちに食事を提供する「こども食堂」を行う、大人や高齢者向けには講師を招いての勉強会・体操教室を行うなど無理はしないが、皆さんが役割分担をして、地域コミュニティの核をめざす・・・大切な目標かと思われます。

### 【現実の課題】

現在、取り組んでいる「つながりの家」については、建築工事費が高くなっているところから、金融機関の融資もいろいろな課題があり、いろいろな書類やデータを求められました。

既に、既存の古屋の解体はでき、新築工事費の見積もり、賃料設定のエビデンス、工事スケジュール、入居者との賃貸借契約の雛形（終身建物賃貸借契約とする）など、準備ができてきましたので、あとは、入居希望者の募集です。

オーナーさんの希望で、65 歳以上の単身女性が対象となりますので、全 5 戸（各戸 30 ㎡強）のうち、すでにオーナーさんが一人を決めてくださいましたので、あと 4 人ということになります。

東京支部の皆さま、是非、入居してみたいと考えている単身高齢女性をご紹介します。よろしくお願いいたします。



東京支部 杉山 昇

## 「江戸学事始セミナー・町歩き・第九を東京カテドラルで楽しむ」

講師・案内人 丸谷博男

参加費：3000 円（1000 円は演奏者への寄付）

開催日：7 月 30 日（水）

### ① 開場 14:30 講義 15:00~17:00 江戸学事始「江戸の水利を知る」

会場：新建築家技術者集団事務所 新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3 階

江戸時代の上水道と尿尿の処理には驚くべき完璧さがありました。

よくその時代に百万都市が生き生きと美しく花咲いていたのです。

### ② 17:15~18:15 江戸川橋周辺散歩

神田川には大洗堰があり、ここから大名屋敷に通水し、余った水は江戸川に流し、庶民が利用した。関口や水道橋などこの付近は「水に」関する地名が多い。肥後細川庭園、椿山荘庭園など川に面した地形を生かした庭園となっている。

### ③ 18:30~20:00 「L.V.Beethoven 第九交響曲を楽しむ」

会場：東京カテドラル聖マリア大聖堂（丹下健三） 文京区関口 3-16-15

<https://sites.google.com/view/umeoke/>

指揮・高山美佳 演奏・梅ヶ丘ジュニアオーケストラ ソプラノ・野田萌々 アルト・駒井ゆり子

テノール・石川雄蔵 バス・菅谷公博 合唱・梅丘記念合唱団

### ④ option 21:30~24h 「浮輪寮夜話」 会費・3000 円

会場：町田市野津田 1725 農村伝道神学校内

宿泊の方は、宿泊費と朝食費と朝学習で 4000 円プラスとなります。

フルスペックで一万円の参加費です。

どの時間帯からでも参加は可能です。参加希望番号・お名前・連絡先（電話）をお書きの上、メールにてお申込みください。 [shinken-tokyo@group.email.ne.jp](mailto:shinken-tokyo@group.email.ne.jp) 新建東京支部

#### 2025年7月30日半日イベント

#### 「江戸学事始セミナー・町歩き・第九を東京カテドラルで楽しむ」

講師・案内人 丸谷博男

参加費3000円（1000円は演奏者への寄付）

##### ■開場14:30 講義15~17:00 江戸学事始「江戸の水利を知る」

会場・新建築家技術者集団事務所

〒162-0801 東京都新宿区山吹町361番地 誠志堂ビル3階

江戸時代の上水道と尿尿の処理には驚くべき完璧さがありました。よくその時代に百万都市が生き生きと美しく花咲いていたのです。

##### ■17:15~18:15江戸川橋周辺散歩

神田川には大洗堰があり、ここから大名屋敷に通水し、余った水は江戸川に流し、庶民が利用した。関口や水道橋などこの付近は「水に」関する地名が多い。肥後細川庭園、椿山荘庭園など川に面した地形を生かした庭園となっている。

##### ■18:30~20h 「L.V.Beethoven 第九交響曲を楽しむ」

会場・東京カテドラル聖マリア大聖堂（丹下健三）

〒112-0014 東京都文京区関口3-16-15

<https://sites.google.com/view/umeoke/>

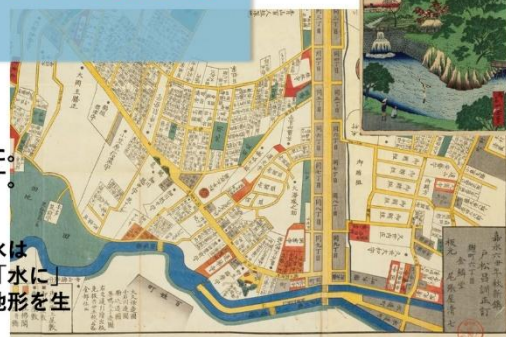
指揮・高山美佳 演奏・梅ヶ丘ジュニアオーケストラ ソプラノ・野田萌々 アルト・駒井ゆり子 テノール・石川雄蔵 バス・菅谷公博 合唱・梅丘記念合唱団

##### □ option 21:30~24h 「浮輪寮夜話」 会費・3000円

東京都町田市野津田1725 農村伝道神学校内

宿泊の方は、宿泊費と朝食費と朝学習で4000円プラスとなります。フルスペックで一万円の参加費です。

東京名所四十八景  
左が大洗堰



# 鋸屋根に魅せられて

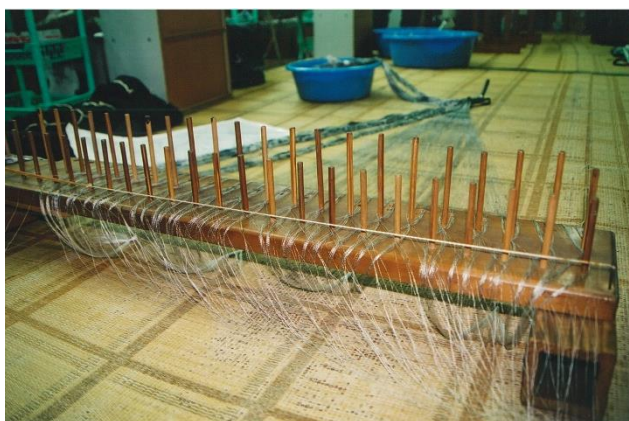
鹿児島県・大島紬②写真家 吉田敬子

大島紬の博物館「奄美の里」を見学した帰り、事務所の方から、織元を紹介して頂きました。「電車なら坂之上駅で降りて、野頭の亀井商店から、児玉美術館へ行く途中あたりに織元があります。少し歩くかな。」と教えて頂いた。指宿枕崎線に乗り、坂之上駅下車です。駅で児玉美術館への行き方を訪ねると、歩くと30分以上と言われバスに乗りました。商店街を過ぎたあたりで、下車しました。しばらく歩くと、南国らしい蘇鉄の木に覆われた入口に看板がありました。「本場大島紬製造卸 株式会社・大島紬コウギ」工場というより、植物公園のようでした。入口を進むと見えてきたのは、なんとも長い糸の作業で驚きました。作業をしている職人さんに声をかけると、大島紬コウギの社長さんでした。初対面で忙しい時間帯にも関わらず、工場内部で工程の説明をして下さいました。大島紬の図案は、すべて糸の密度にあわせ、意匠創作から始まり、糊張、柄締、染色、製織など大きく分けても30数工程の、気の遠くなるような複雑な手作業による工程を経て作り上げられます。締機（しめばた）で緋を織り込むためには、必要な本数をそろえ糊で固めておく。緋糸は反数によって糸の本数をそろえイギス、フノリなどをつけ、日光で十分乾燥させる。その後、室内で10日間ぐらい自然乾燥させて、糸のちぢみを一定に落ちつかせます。私が驚いた工程でした。

糊張（のりはり）作業：2004年撮影



写真説明 上左右：糸くり「かせ糸」という。 はえばた（整経）  
 中左右：染める（テーチ木染め） しめばた「むしろ」という。  
 下左右：かすりの「すりこみ染色」 織る前の準備「あげわく」



力と技の調和、大島紬の特徴は精巧な緋の美です。これは 1300 年の歴史と、それを受け継ぎ伝承してきた職人の賜物です。社長さんは言いました。バブル崩壊後（1992 年）は経営が困難になり、辞めていく仲間が続きました。私の工場も厳しくなり悩みましたが、先代が伝え残した大島紬を、こんな理由で辞める訳にはいかない。私ひとりになっても、この伝統を守り伝え残していきますよ。私の祖先は、西郷隆盛さん、私の体型と顔は似ているでしょう。まだまだ勉強ですよ。いい写真撮れましたか。と微笑み、この道 35 年という西郷さん似の社長さんは力強く話して下さいました。訪ねてから 20 年の時が流れ、昨年（2024 年）電話をしました。覚えていてくれました。工場は閉鎖し更地にしたようですが、お元気な声でした。お互いの近況を話した後、また連絡させて下さい。が最後でした。現在は電話連絡が出来ません。社長、阿多利 末弘様との出会いを伝承させていただきます。

## ロンドンのベトナム人街

VIETJO 記事に、変わったニュースが流れだしたので、紹介します。各国のベトナム人街です。最初は、ロンドンです。

アジアニュースNo.30  
(ベトナム中心) TN

ロンドン: 歌謡曲でムードたっぷり、街角カフェでベトナムコーヒーを1杯

国外に住むベトナム人、いわゆる越僑は、2024 年末時点で世界 130 か国・地域以上に約 600 万人いるとされる。その歴史は長いが、最近でも労働者派遣や留学などさまざまな形で海外に移住する人は多い。そんな人の流れが、海外でベトナム人街を形成するきっかけとなっている。興味深いのは、国が変わればベトナム人街やそこにいる人の様子も異なる点。世界各地の小さなベトナムを訪ねてみた。

最初に訪ねたのは英国のロンドンだ。街を南北に分かつテムズ川にかかる巨大な橋「タワーブリッジ」の北側に、ベトナム系の店が集まる一角がある。通りの名称はキングスランドロード



(Kingsland Road)。鉄道「ロンドン・オーバーグラウンド (London Overground)」のホクストン(Hoxton)駅からは徒歩約3分、バスはフォルクーク・ストリート(Falkirk Street)停留所から降りて

すぐとなる。

## 英国名物の2階建てバスとキングスロード・ストリート

ベトナム人街といっても、横浜市にある中華街のようにいかにも現地と異なる建物が立っていたり装飾がなされているわけではなく、ベトナム系の店が現地の通りや建物に溶け込みながら並んでいる。伝統的なベトナム料理店からフュージョン料理の高級店、小さなカフェまで、約 200m の範囲に大小 20～30 軒ほどが軒を連ねる。

## ベトナムレストランが並ぶキングスロード・ストリート



メニューは観光客だけでなく在住ベトナム人も喜ぶような品揃えで、ベトナム語と英語が併記されている

特に、気軽に  
入って楽しめる  
家庭的な店が  
多く見えた。メ

ニューはもちろん看板までベトナム語の店もあり、現地の人には興味をそそられ、ベトナム人には懐かしさを感じさせる一角となっている。





### 「ハノイカフェ」で楽しむベトナムコーヒー

さまざまある店の中で、ピンクの店構えがひととき目を引く「ハノイカフェ」に入った。

ピンクの外観と立て看板がかわいらしいハノイカフェ

足を踏み入れた瞬間、驚いたのはBGMだ。かわいらしい外見から若手歌手のVポップ(歌謡

曲)やジャズなどが流れているのだろうと思いきや、聞こえてきたのはベトナムの古い歌謡曲。壁にはプロパガンダアートのポスターが並び、一瞬にしてベトナムの世界に引き込まれた。

### 店舗各所からベトナムを感じる



ベトナムコーヒーを打ち出す同店で、カフェタイムと決め込む。バインミーが得意料理のようで、「オリジナル」「バーベキュー」など数種類ある。持ち帰りしようと決め、スタッフを呼び止めた。

ところがそのスタッ

フは、英語がそれほど得意ではないようで意思疎通がうまくいかない。特に「持ち帰り」を巡り手を変え品を変え伝えてみるが要領を得ない。そこで「マンベー(Mang Ve)」と拙いベトナム語で言ってみたら、彼の顔がぱっと明るくなり「OK」とのジェスチャーと満面の笑顔をもらった。スタッフは気分を良くしたのか、おすすめのバインミーまで推薦してくれた。ちょっとしたことで店員とも一気に打ち解ける、ベトナムのローカル店にいるような感覚を、遠く離れたロンドンでも味わうことができた。

ベトナムコーヒーは英国人向けなのか量が多めで、ドリッパが終わった頃にはコップの7~8割程度を満たしている。さながら、ラージサイズのベトナムコーヒーといったところだ。現地ではあまり知られていないのだろう。ガラスのコップに載ったアルミのドリッパーは、他の現地来店客から注目を集めた。注ぐ時から楽しいこのイベント性のある独特のコーヒー、ぜひ英国人にも楽しんでいただきたいものだ。

### ベトナムコーヒーは4.5ポンド(約860円)

ハノイカフェを出て、近くにあったアジア系スーパーマーケットへ。中国商品もあるが、街が街だけにベトナム商品が圧倒的に多い。目にとまったのは店名と同様の「Longdan」という商標を持つ、ベトナムでは見かけないベトナム商品たち。後で調べてみたところ、ベトナム系オーナーによるアジア系スーパーマーケットチェーンのようだった。自社サイトやプライベートブランド(PB)も展開しているところを見ると、現地にしっかり根付いているもようだ。海外には海外ならではの大手ブランドがある。こうした本国との



違いが面白い。

プライベートブランドのほか、ベトナムでもおなじみの製品がそろうスーパー



住む人・使う人の立場で、  
住まいづくり、まちづくりを  
すすめています。



共同建替え「アリシア鳩ヶ谷」

〒124-0001  
東京都葛飾区小菅4-22-15  
TEL : 03-3601-6841  
FAX : 03-3601-6944  
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp  
<http://www.zo-3.info>

株式会社 **象地域設計**

#### 新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

**住**み続けられる



株式会社  
**まちづくり研究所**

〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503  
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

WHY?

え？

**広告主募集中です！**

# 新協建設工業株式会社

**平和であればこそ建築はよろこび**

本社 台東区台東2-25-10  
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3  
台東支店 (台東) 台東区台東2-25-10  
西東京支店 (多摩) 日野市神明4-22-13  
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11  
石川支店 金沢市法光寺町207-4  
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450  
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472  
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380  
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581  
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874  
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570  
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728